



アールブリュット

アールブリュットという言葉があります。生の芸術、芸術教育を受けたことのない人たちの芸術というような意味です。たとえば、アフリカのさまざまな民族の彫刻や絵画、幼児の絵などをイメージしていただくとわかりやすいかと思ます。彼らは、美術史的な知識やアカデミックなテクニックを習得する環境にはいません。しかし、そのような環境のなかから、独創性あふれる素晴らしい表現が星の数ほど排出されています。アルタミラの壁画も、キトラ古墳の壁画も、大いなる宇宙のヴァイブレーションに触発されて、自然に沸き起こる情熱が描かせたものだと言えます。ヨーゼフ・ボイスは「すべての人間はアーティストである」と言いました。その意味は、すべての人間は、潜在的にアーティストの感性と表現力をもっているということなのだと思います。

えぞこホールは、すべての人が潜在的に持っている感性、創造力が、さまざまな形で芽吹き、花開かせるためのささやかなお手伝いをするのだと考えています。そのために、演劇や音楽の公演事業のほか、さまざまな参加体験型のワークショップを通年で開催しています。音楽、演劇、ダンス、現代アート、そのほか多彩なプログラムを用意しています。あなたに合った1本をぜひ探してください。

えぞこホール ☎ 52-3004 URL <http://www.ezuko.com>



野菜の甘酢がけ



レシピ担当
佐藤トモ子さん
(桜町2区)

甘酢のさっぱり感を味わいながらたっぷりの野菜をおいしく食べられるメニューです。
1皿70gの野菜を1日に5皿、350g以上取れるようにしましょう。

【材料(4人分)】(写真は1人分)
キャベツ200g、カブ100g、
キュウリ100g、ニンジン80g、
セロリ100g、塩小さじ2
甘酢赤トウガラシ1/2本、サラ
ダ油大さじ1、ゴマ油大さじ1/2
砂糖大さじ4、酢大さじ3 1/2

【作りかた】
①キャベツは2斜角に切る。
カブは葉つきを2斜角に残して切り、皮をむいて6×8つ割りにする。キュウリは3mm厚さ位の斜め切りにする。
②ニンジンは4斜長さ・1斜幅の短冊切り。セロリはスジを取りニンジンと同じに切る。
③ボウルに①と②を入れ、塩でもむ。全体

【データー(1人分)】
◆エネルギー/126キロカロリー
◆塩分/1.5g
がしなやかになったら重石をして15分位おく。
④水気を絞ったボウルに入れておく。
⑤フライパンにサラダ油とゴマ油を熱し、赤トウガラシを入れて辛みを出し、やや冷やしてから砂糖と酢を加えて④にまわしかける。十分に混ぜ、冷やしてから汁ごと盛り付ける。

平成26年度大河原町食育スローガン「家族で野菜のおかずをひと皿増やそう」

さくらっきー

梅雨 おしの ともこ作



大河原町観光物産協会HP上で連載中
<http://www.oogawara.com>

身近な自然再発見

…人間と共生する昆虫たち…



▲人家近くで乱舞するホタルたち(小山田区)

2 冷たいホタルの光は進んでいる

夏の風物詩といえば、ホタルでしょう。以前は蚊帳の中に近所で捕まえたホタルを放して家族と楽しんだものです。かつて町内の田んぼや丑越の用水堀の周りにホタルがたくさんいました。ホタルはいくら水がきれいでもえさが少ない山奥より人里近くのほうが暮らしやすいのです。環境が変わってだいぶ減りました。

たが、今でも小山田ではゲンジホタルなどと出会えます。6月後半の蒸し暑い風のない晩ならば、光りながら舞い飛ぶホタルたちの幻想的なシーンをみる事ができます。ただし人家の周りなので、静かにマナーを守って道路から観察するようにお願いします。ホタルの光は触っても熱くないので「冷光」と呼ばれています。体内の光る部分に酵素が働きかける化学反応だからです。最近ではLED照明が増えてきましたが、熱を出さないホタルの光は人間よりも進んでいるわけです。ホタルは仲間同士で伝えあうために光ります。オスがメスを呼ぶ時の点滅の速さが東日本と西日本では違っているそうです。中部地方がその境目ですが、人間が使う電気の周波数も同じように東西で違っていますね。これは興味深い偶然の一致ではないでしょうか。

元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん

わがまち文芸道場

手の平に昔が戻る桑苺
桜桃忌なじみの酒屋記念館
阿武隈の小町の里や遅桜
鯉はねる音に翳あり花筏
はればれと青田に泛ぶ蔵王山
朴散りて光は谿へこぼれけり
四季の国明け放たれる五月かな
蕪の花嬰鏢とゆく媼かな

カッオ 啓子
せつ子 智賀子
裕子 芳枝
三山 芳子

【大河原短歌会】

胡蝶蘭わが玄関に君臨す花は宝石香わしく咲く
桜花も散り紫木蓮咲くわがめぐり春の陽気に木々も笑まへり
二人居てくつろぎがたき細き肩まるめていねむる夫の傍に
左の手ややに老斑少なければ右手を覆う会合の席に
卒寿越えやうやく知りぬ余命とは天の定めし生命の残り
成人の式にはあらず米寿なれ留袖の人しやんと歩み来
座席とりしブルーシートは花筵座るに惜しき花人われら
支えられ白木蓮に触れむとす九十歳の若やくひととき
長き髪なびかせ遊具の上に立つ女孫はふつと桜に紛れり
亡き妹に姉さま活けしぼたん花はひそやかに開く納棺のとき
薄れゆく記憶のかけら遠き日に幼友らと摘みしカタクリの花
沿道の喊声にこたえ車上で金メダルとりしワンポーズ美し
幼らの飛び跳ね放つ声に和し花見の土手に笑いさざめく
牡蠣筏のおかげで海がよみがえる漁民の知恵にわれ驚けり
ホーホケキョケキョケキョ日毎に声高くわれの姿を見つけては鳴く
小原チハル
教えるの歯科医となりて痛む歯をやさしき言葉に治療してくれぬ
温暖化の光を浴びてわが町の梅と桜が共に咲きたり
加藤てる
小原啓作

水戸彦次
水戸玲子
佐藤睦子
本木定子
丸山ひさ子
大友道子
小成田紀代子
星 和貴
加藤倫子
菅井加寿子
菅野美栄子
佐藤昭子
高城和子
小成田忠雄

毎月6人に500円の図書カードをプレゼント!



「アーマードダイナソー」



▲「カビバラさんたち大しゅうごう」



「ペコちゃん」



「さくらっきー」



「No.6 エネ」



「たなかしゅんすけ」

だれでもイラストレーター!
このごろ投稿が少なめ。掲載されるなら今かも!?